

最高裁秘書第5677号

令和元年12月5日

山 中 理 司 様

情報公開・個人情報保護審査委員会

委員長 高 橋 滋

理由説明書の写しについて（送付）

下記の諮問について、最高裁判所から当委員会に提出された理由説明書の写しを別添のとおり送付します。

記

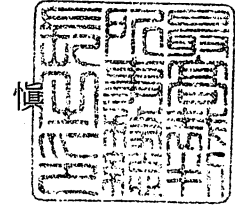
諮問番号 令和元年度（最情）諮問第54号

（担当）秘書課文書開示第一係 電話03（3264）8330（直通）

令和元年11月29日

情報公開・個人情報保護審査委員会 御中

最高裁判所事務総長 中 村



理由説明書

本日付けの諮問（要旨は下記1のとおり）について、下記2のとおり理由を説明します。

記

1 諮問の要旨

苦情申出人は、最高裁判所がした不開示の判断に対し、本件対象文書が存在しないか不明である旨主張しているが、当該判断は相当であるとする。

2 理由

(1) 開示申出の内容

裁判官の休職手続について書いてある文書（最新版）

(2) 原判断機関としての最高裁判所の判断内容

最高裁判所は、(1)の開示の申出に対し、10月17日付けで不開示の判断（以下「原判断」という。）を行った。

(3) 最高裁判所の考え方及びその理由

ア 「裁判官の休職手続について書いてある文書（最新版）」は、「裁判官の休職手続が定められた文書（最新版）」と整理した。

裁判官の休職について規定した法規はなく、休職手続を定める必要はないことから、対象文書は作成又は取得していない。

イ よって、原判断は相当である。